

tatara 撥水シリーズと輪ジミ・アク止め下地材の併用

塗装説明書

tatara 撥水シリーズのご購入ありがとうございます。

いずれの塗料もお手軽に、木材素地を強く・美しく・健康に保つ製品です。

従来塗料のように塗膜を形成しないため、木肌を活かした自然な仕上がりになりますが、

木材繊維・組織が剥き出しになっていますので、

特徴をご理解いただいたうえで、木材本来の素材感をお楽しみください。

※容器内の安定剤ペレットは、容器内に残したまま塗料のみ使用してください。

■基本仕様

気温や湿度、木材によって変化しますので、あくまで目安となります。

通常、針葉樹など柔らかく軽い木材ほど、塗料の浸透量が多く、浸透時間が早くなり、

広葉樹など硬く重い木材ほど、塗料の浸透量が少なく、浸透時間が遅くなります。

また、浸透時間・硬化時間ともに、温湿度が高いほど早く、低いほど遅くなります。

	スギ材等の針葉樹	ヒノキ材	ナラ材等の広葉樹
塗工量 (3回塗り)	約 5 m ² ~8 m ² / 1L (120ml~190ml / m ²) 塗料の浸透量が多い	約 10 m ² / 1L (100ml / m ²)	約 12 m ² ~19 m ² / 1L (50ml~80ml / m ²) 塗料の浸透量が少ない
浸透時間	約 10~15 分 早い	約 15 分	約 15~20 分 遅い
硬化時間	半硬化: 24 時間 硬化: 7 日 完全硬化: 20 日		

■塗装工程[3回塗布 約5~6時間]

標準的な気候・湿度、ヒノキ材を基準としていますので、

温湿度や木材によって塗布の量や乾燥時間など、「基本仕様」を目安に適宜調整してください。

準備

作業前に水拭きなどで木部表面をできるだけきれいに拭き取り、木粉・毛羽を落としてください。
木材表面の水分が十分乾燥してから作業をはじめてください。

1回目

最初に輪ジミアク止め下地材を刷毛に含ませ均等に塗布・浸透させてください。

木口はすぐに吸い込んでしまいますが塗りすぎにはご注意ください。

塗布後、表面の塗料はすべて木部に沈み込み、4~5時間程度放置してください。

※タンニン・アクのつよい材種（濃色材）につきましては、一晩放置した方が効き目が増しますが、
ただし、2回目以降の塗料の浸透性が下がるので塗布量に注意が必要です。

2 回目

次に撥水シリーズの塗料を、輪ジミアク止め下地材と同量程度を塗布・浸透させてください。
塗布後、15分程度放置してください。（夏場はもう少し短時間になります）
表面に塗料が残りテカリがある場合は、整える程度に軽くウエスをかけてください。

3 回目

同じく撥水シリーズの塗料を、2 回目より少ない量を塗布してください。
塗布後、2 回目と同様に 15 分程度放置してください。
表面に塗料が残りテカリがある場合は、整える程度に軽くウエスをかけてください。
また、塗料の吹き戻しの可能性もありますので（特に堅い広葉樹）、
1 時間程度後に表面を確認し、吹き戻しがある場合は軽くウエスをかけてください。
含浸しきれない塗料をそのままにしますと、テカリが残ったまま硬化したり、
ザラつきの原因になります。

※木材表面が毛羽立ちザラつくようでしたら、必要に応じてサンドペーパー（＃400～＃800 程度）で毛羽を落としてください。

※塗装後は表面はベタつきがありませんが、内部に浸透した塗料は約 1 週間かけて徐々に硬化し、性能を発揮するのはそれ以降になります。1 週間程度は水拭きや過度なご使用はお控えください。

■ 塗工後のメンテナンス

仕上がった表面は日常的にウエスで乾拭きしていただきますと、次第に色艶が増してきます。
漆に似た特性があり、2～3 ヶ月を目安に時間が経過すればするほど、結合性能が上がります。

気になる汚れがあるときは水を固く絞った布できれいに拭きとってください。

食卓テーブルなど 1 日に何度も水拭きしますと、表面のケイ素が徐々に剥がれてきて、カサつきがでたり、白っぽく毛羽立ってきます。その場合は、表面の汚れを拭き取り十分に乾燥させた上で、ウエスに撥水セラミックを含ませ、全体的にひろく拭き込んでいただくと美しく復活します。

ご質問・ご意見は下記のメールアドレスまでご連絡くださいませ。

tatara-hanbai 合同会社

本社：〒573-0153 大阪府 枚方市藤阪東町 3-7-6
穂谷Lab.Office&Sourroom：〒573-0114 大阪府枚方市穂谷2丁目6-1
TEL：072 807 4164 FAX：072 860 7821

MAIL:info@tatara-hanbai.com <https://www.tatara-hanbai.com>